

二〇二二年度

中学校 国語

〈注意〉

- 一 開始の合図があるまで、問題用紙、解答用紙に手をふれないでください。
- 二 答えは、すべて解答用紙に書いてください。
- 三 受験番号は、算用数字で書いてください。名前は書かないでください。
- 四 解答用紙に、解答と受験番号以外のことを書いてはいけません。
- 五 字数に指定のあるものは、句読点、かつこも一字とします。
- 六 問題用紙、解答用紙を持ち帰ることはできません。
- 七 問題は、一ページから十四ページまであります。
- 八 解答時間は四十五分です。
- 九 物を落としたとき、体調が悪くなったとき、何か質問があるときは、
だまって手をあげてください。

一

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。(出題のために一部文章をかえています)

小学校の頃ころから友だちと自分を比べることはあったし、友だちのほうがよくできるのをうらやましく思うことはあったけど、この頃ころそういうことが多くなった。何かにつけて友だちと自分を比べては、自分のおとつている点が気になり、気分が落ち込むこ。そんなに深刻しんこくに落ち込むこっていう感じではないのだけど、何いだか嫌いやな気分になる。①そんなことがあるだろう。

思春期になると、だれもがそんな②カンカクに苦しめられるようになる。じつは、③大人も何かと人と自分を比べてうらやんだり落ち込んだりしている。こうした比較意識ひかくからは、僕ぼくたちは一生にげられないようだ。

ただし、大人になり、人生経験を積むにしたがって比較意識による気持ちの落ち込みを適当にごまかせるようになる。人によっては、比較による劣等感れつとうかんを成長のバネにすることさえできる。

でも、まだ人生経験のとぼしい青年期には、比較によって生じる劣等感れつとうかんは、大きなダメージになりがちだ。

だれとでも打ち④トけて話すことができる友だちと比べて、自分はなんでもうまく話せないだろう、なんで気をつかっちゃうんだろうといった意識が強すぎると対人場面で緊張きんちやうするようになり、友だちに気軽に声をかけられなくなる。

友だちと比べて運動⑤シンケイのぶい自分を意識しすぎると、みんなで球技をして遊ぼうというよ

うなことになる、みつともない姿をさらしたくないという思いから、ちょっと都合が悪いからと
⑤ コウジツをつけてにげるように帰ってしまう。

比較意識というのは何ともやっかいなものだ。他人はそこまで人のことを気にしていないはずなのだ
が、自分のほうが強烈きょうれつに気にしてしまう。何でそんなやっかいなものをもってしまうのか。それは、
だれでも自分を知りたいからだ。

人と比べることの背後には、A という思いがある。人と比べることを心理学では社会的比較
というが、これは自己評価の重要な指標※1を与あたえてくれる。

例をあげてみよう。

自分は足が速い。自分は背が高い。自分は太っている。自分は引っ込み思案だ。自分は勉強が苦手だ。
これは、よくありがちな自己評価の例だが、こうした自己評価は、どのように形成されるのだろうか。
生まれつきもっているわけではない。経験を通してゆつくりとゆつくりあげられてきたものはずだ。

授業や運動会でかけっこをするたびにみんなよりB ことが多かったり、鬼ごっこでなかなかつか
まらなかつたりすると、自分は足が速いという自己評価をもつようになる。

クラスの中で自分より背の高い人がC と、自分は背が高いんだという自己評価をもつようになり、
自分よりD 人があまりいないと、自分は太っているという自己評価をもつようになる。

授業中にクラスの人たちが積極的に手をあげるのに、自分はまちがったらはずかしいとほとんど手を
あげないということになると、自分は引っ込み思案だという自己評価をもつようになる。

クラスの中に自分より勉強ができる人がたくさんいて、自分よりE 人を探するのが難しいというこ

とになると、自分は勉強が苦手だという自己評価をもつようになる。

このように、僕たちは **F** によって自分の特徴とくちようを知ることができると言われる。人と比べてもしょうがない、人との比較なんかにこだわる必要はない、自分らしくあればいい、などとと言われることがある。でも、自分がおとることがあっても落ちこまないようにすることが大事なのであって、人と比べること自体が悪いわけではない。何しろ、「自分らしくあればいい」なんて言われても、人と比べないと自分の特徴が浮かび上がってこないのだから。

「A君は、なんであんなふうに受け取るんだろう」と疑問に思うとき、A君とはちがう感受性をもつ自分が意識されている。

「B君はあんなこと言うけど、僕はそれには④サンセイかちかんできないな。そういう考え方は嫌だな」と反発を感じる時、B君とは異なる価値観かちかんをもつ自分をそれとなく感じている。

「C君は何のこだわりもなくうらやましいな。僕は、どうも変なこだわりがあつて損をすることが多い」と思うこともあるかもしれない。でも、ほんとうにうらやましいなら、自分もC君のように変なことだわりを捨てすればいい。そうすれば、仲間グループの中でも浮くこともなくなるし、先生の言うことに反論はんろんしてにらまれることもなくなるはずだ。でも、③それができない自分がある。自分の信念を捨てて調子よく周りに合わせるということができない。結局、「うらやましい」という思いがあるもの、「あんなふうにはなれない」なりたくない」というきつぱりとした思いが心の奥底おくそこにひそんでいるのだ。ここにも自分らしさをつかむヒントがある。

（榎本博明『「自分らしさ」って何だろう？』）

※1 指標 … 物事を判断したり評価するための目じるしとなるもの。

問一 — 線部㉞㉟のカタカナを漢字になおして書きなさい。

問二 — 線部㊱「そんなこと」の指す内容を四十字以内で書きなさい。

問三 — 線部㊲「大人も何かと人と自分を比べてうらやんだり落ち込んだりしている」とありますが、このあと筆者は、大人と青年期の違いちがについて述べています。その違いはどこから生まれますか。「人生経験」という言葉を使って、三十字以内で書きなさい。

問四 A に入る言葉として適切なものを本文中から七字でぬきだして書きなさい。

問五

B E

号で答えなさい。

に入る言葉の組み合わせとして最も適切なものを次のア～エから一つ選び、記

ア B—遅い^{おそ} C—多い D—やせている E—できる

イ B—速い C—多い D—太っている E—できない

ウ B—遅い C—少ない D—やせている E—できる

エ B—速い C—少ない D—太っている E—できない

問六

F

に入る言葉として適切なものを本文中から五字でぬきだして書きなさい。

問七

——線部③「それができない自分がいる」について、次の問いに答えなさい。

(1) 「それ」が指す内容を本文中の言葉を使って書きなさい。

(2) 「それができない」とありますが、その理由を述べている一文を本文中から探し、そのはじめの五字を書きなさい。

問八 この文章には、次の一文が省略されています。この文が入る直後の五字をぬきだして書きなさい。

【もし、もっと学力レベルの低い学校にいたとしたら、自分は勉強が苦手だという自己評価をもたなかったかもしれない。】

問九 本文の内容として合っているものを次のア～オの中からすべて選び、記号で書きなさい。

- ア 人と自分を比べることは、劣等感をもってしまうので、やめた方がよい。
- イ 大人になると、人と自分を比べることはあまり意味がないので少なくなる。
- ウ 人と自分を比べることで、自分の特徴が浮かび上がってくる。
- エ 自分の信念を捨てて周りに調子を合わせる事が重要なことである。
- オ 人と自分を比べておとることがあっても、落ちこまないことが大切である。

二

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。(出題のために一部文章をかえています)

【ここまでのあらすじ】

ジル・シャ・アボット(ジュデイ)は、生まれてから十七年間、ジョン・グリーア孤児院^{※1ホーム}で育った。ある時、その孤児院の理事をしている「あしながおじさん」のえん助で、大学^{カレッジ}に進学できることになる。その条件として、大学生活を手紙に書いて報告することを出される。次の一月十一日と三月五日の二通の手紙は、その手紙の内容となる。

【二月十一日の手紙】

市内からお便りするつもりだったのですが、おじさま、ニューヨーク^{たましい}って魂^{たましい}をうばわれるようなところなのね。

おもしろかったし——勉強にもなりました。だけど、あんな家族の一員じゃなくてよかった！ ジョン・グリーア孤児院出身のほうがほんとにまだまし。わたしの生いたちにどんな悪いことがあったにしろ、①みえをはる^{はる}ってことだけはありませんでした。②物質^{物質}におしひしがれると人の言う意味が、今ではわたしにもわかります。

あの家の物質的ふんいきは人をおしつぶします。帰りの急行列車に乗るまでは、深呼吸^{しんこきゅう}ひとつでき

なかった。家具はどれもこれも彫刻がほどこされ、布ばりされ、豪華そのもの、会う人たちといえは美しく着かざり、低い声で話し、育ちのいい人ばかり、けれどほんと、おじさま、あの家へ着いてから帰るまで、心からのことばはひとことだつて聞かなかつたわ。思想なんていうものは、いまだかつてあの家の敷居をまたいだためしがないんでしようね。

ペンドルトン夫人は、宝石と洋服屋とおつきあいの約束以外のことは、なにも考えません。マクブライド夫人とは、ちがつた⑦シユゾクの母親らしい！もし結婚して家庭をもつとしたら、わたしはできるだけマクブライド家そっくりにするつもり。世界じゅうのお金をみんなつまれても、自分の子どもひとりだつて、ペンドルトン家の人みたいにはしないわ。およばれた家の人たちを批評するなんて③礼儀になつていけないのかもしれないね。そうだったら、ごかんべん。これはあなたとわたしのあいだだけのないしよ話。

【中略】

劇場やホテルや美しいおやしきをたくさん見ました。わたしの頭のなかは縞瑠璃や、金メッキやモザイクの床やシユロの木でごちゃごちゃ。まだびっくりしつぱなしだけど、大学と、それからわたしの本のもとにもどつてきたのがうれしくて——わたしはしんから学生なんだな、この学究的な静かなふんいきのほうに、ニューヨークなんかよりずっとわたしをはりきらせるわ。

大学にいれば、みちたりた生活が送れます。本や、勉強や、規則正しい授業が、人の精神をいきいきさせるし、頭が疲れたら、体育館もあるし、外で競技もできるし、そのうえいつでも、自分と同じような話題をもっている気のあつた友だちもいっぱいいる。

わたしたちはひと晩^{ばん}じゅうなにもしないで、しゃべって——しゃべって——しゃべりぬいて、さながらさしせまった世界の問題をいくつか永久に解決したかのように、意気たからかにベッドにもぐりこむんです。ちよつとでもひまがあれば、いつもばかげたことばかりして——小さなできごとについての、たあいもないじょうだんにすぎませんが——だけど、とても満足しています。みんな自分で自分の洒落^{しゃれ}に①カンシンしているの！

大きなすばらしい喜びなんかじゃない、いちばん大切なのは。④ささやかな喜びからうんとたくさん喜びを作ってしまうことこそ大切——⑤幸福のほんとうの秘密^{ひみつ}をわたしは発見したのよ、おじさま、それは「現在」に生きること。過去をくよくよやんだり、未来のとりこし苦労をしたりしないで、今のこの瞬間^{しゅんかん}からえられるかぎりの最高のものをつかむことです。【中略】

わたしは一秒一秒を楽しみます。楽しんでるあいだは、楽しんでることを意識します。たいていの人たちは、生きてるんじゃなく、競走しているだけ。はるかかなたの地平線にある決勝点にたどり着こうとけんめいです。そしてそこに行くことに熱中するあまり、息が切れ、あえぎ、とちゅうの美しい風景も目に入らないんです。そしてあげくのはてに知ること、自分たちが年をとり、疲れはて、決勝点に着こうが着くまいがけつきよくなんのちがいもなかったということ。わたしはたとえ大作家になれなくとも、⑥道草^{みちくさ}をして、小さなしあわせをいっぱいいつむことに決めました。こんな女哲学者^{てつがくしゃ}に会ったことある？

いつまでもあなたの

ジュデイ

【三月五日の手紙】

あすは今月の第一水曜日——ジョン・グリーア孤児院では、いやな日です。五時になって、あなたが孤児たちの頭をなでて、帰ってしまおうと、どんなにみんなほっとするでしょう！ あなたは（個人的に）わたしの頭をなでてくださったことがおありですか？ おじさま。ないと思うわ——ふとった理事さんにばかり、なでてもらったようにおぼえています。

どうか孤児院によろしくお伝えください——皮肉ではなく、まじめに。四年という年月のかすみをとおしてふりかえってみると、ほんとなつかしくなります。はじめて大学へ来たときは、ほかの娘たち（むすめ）が過ごしてきたような、ふつうの子ども時代というものをうばわれていたのですから、ずいぶん腹（はら）もたちました。でも今では、ちつともそんな気はしません。ふつうじゃできない冒険（ぼうけん）の一種だっと思っているのです。わきに立って人生をのぞむ、㊦ユウリな位置をあたえられたようなもの。すっかりおとなになってから世のなかに出て来たので、わたしは世のなかを見とおすことができる、これはいろんなもののまっただなかに育ったほかの人たちには、まったくできないことです。

自分が【*】なのに、ちつとも気づかない女の子たち（たとえば、ジュリア）を、わたしはたくさん知っています。彼女（かのじよ）たちは、【*】に慣れすぎて、カンカクがにぶってしまったんです。けれどわたしにしてみれば——わたしは、生きている一瞬（いつしゆん）いっしゆんに、自分が【*】だということにはつきり気づいている。そしてどんなにふゆかいなことが起こっても、そうしてゆくつもりです。ふゆかいなことは（歯痛（しつう）ですら）おもしろい経験として考え、どんな気持ちができるものかよるこんで味わってみようと思っっています。「どんな空のもとにしようよと、わたしの心はすべての㊧ウンメイにたい

してひらかれている（バイロンの詩の一節）

とはいうものの、おじさま、ジョン グリーア ホーム J・G・Hにたいするこの新しい愛情を、あまり文字どおりにはおとりにならぬよう。もしもルソーのように子どもが五人あつたとしても、その子たちがまちがいなく④シッソに育つようにと、孤児院の戸口へ捨^すててきたりはしないわ。

ミセス・リペットに、わたしの好意をお伝えください（これが正直なところ、愛をといつてはちよつと強すぎる）、そして、わたしがどんなにあつぱれな個性の持ち主になっているか、それを話すのも忘^{わす}れずに。

愛をこめて ジュディ

（ウェブスター『あしながおじさん』）

※1 孤児院 … 親や世話をしてくれる人がいない子どもを養育する場所。

※2 縞^{しま}瑠璃 … 縞もようの特にはっきりした鉱物のこと。

※3 学究的 … いちずに学問や研究に打ちこむさま。

問一 — 線部㉞㉟のカタカナを漢字になおして書きなさい。

問二 — 線部①「みえをはる」とありますが、この意味として、最も適切なものを次のア～エから一つ選び、記号で書きなさい。

- ア うそをつく
- イ 素直に謝らない
- ウ 格好をつける
- エ 暴力をふるう

問三 — 線部②「物質におしひしがれる」とありますが、「おしひしがれる」とは「おしつぶされる」の意味で使われています。その意味をふまえて、「物質におしひしがれる」とわたしが感じたものは、ここではどのようなことを指していますか。本文中からその具体的な内容の部分をさがし、そのはじめと終わりの五字をぬきだして書きなさい。

問四 — 線部③「礼儀にかなっていない」とありますが、逆に「礼儀にかなう」とは、ここでは

どうすることになりますか。三十字以内で書きなさい。

問五

——線部⑤「幸福のほんとうの秘密」とありますが、この秘密とは何ですか。本文中から答えとなる一文をさがし、そのはじめの五字をぬきだして書きなさい。

問六

——線部⑥「道草をして」とありますが、ここでの意味に最も合うものを次のア～エから一つ選び、記号で書きなさい。

- ア 人との競走の合間に、少しの休みを取り、そしてまた最後まで走りぬいていくということ。
- イ 自分の目指すものに力を注ぎながら、まわりも見て、楽しみながら生きていくということ。
- ウ 必死になりたいもののためにがんばり、とちゅうの楽しいことにも、目もくれず歩むこと。
- エ 初めから自分のやりたいことをして、そしてたまに自分を見つめ、進んでいくということ。

問七

——線部④「ささやかな喜びからうんとたくさん喜びを作ってしまうことこそ大切」とありますが、わたしがこのように思えたのはなぜですか。三月五日の手紙の文章を読み、「自分が孤児院で育ったことで、」のあとに続く形で、本文中の言葉を使って、その理由を五十字以内で書きな

さい。

問八 「 * 」にあてはまる言葉をひらがな四字で、一月十一日の手紙の文章からぬきだして

書きなさい。